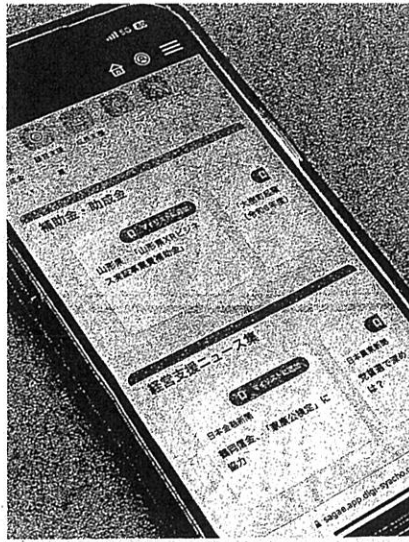


# 新事業や起業 寒河江市応援

LINEで情報提供

山形県寒河江市は、新たな事業を興す経営者や起業計画する人らに、LINE（ライン）を用いてビジネスに有用な情報を提供す



ラインを通しビジネスに関する情報が届けられたスマートフォンの画面

始めた。市内の産業活性化が目的で、市としては初の試み。市中部で近年増加する空き店舗の解消にもつなげたい考えだ。

利用者はスマートフォンなどからQRコードを読み取り、会社の住所や職種、自身が興味を持っている分野などを登録。登録内容に合わせ、経営のヒントにな

るニュースや自治体の補助金・助成金の情報が届く。

基本的には市内で事業を行う経営者向けだが、同市で展開を図る市外の事業者からも利用でき、登録内容に応じて全国のビジネス情報を入手することも可能だ。市商工推進課の担当者は「ビジネスで何をしたらよいか分からない人にとって一歩を踏み出すきっかけになることで、市の次世代を担う産業の創出を目指したい」と意気込む。



情報を登録するためのQRコード

## 副業・兼業プロ人材 活用の利点を解説

寒河江でセミナー

県プロフェッショナル人材戦略拠点と人材サービス会社による「副業・兼業プロ人材活用セミナー」が1日、寒河江市のハートフル

## 市議会 (1日)

補正予算案追加提案へ

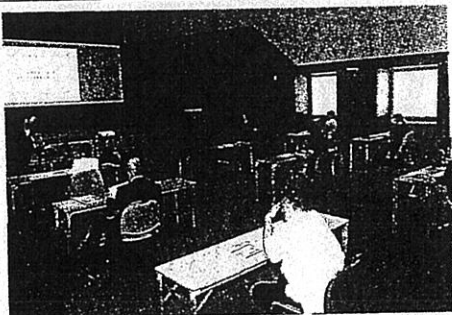
寒河江

議会運営委員会を開き、2024年度一般会計補正予算案1件を、9月定例会最終日の10月2日に追加提案することを了承した。

一般会計の補正は、サクラノボの高温対策に必要な設備・資材導入を支援する果樹園芸作物等生産振興対策事業など6063万5千円を追加し、総額を239億6547万円とする。

(高野周平)

センターで開かれた。パーソルキャリア（東京）アライアンズ推進部の片山真平課長が講演し、同人材活用のことや利点を解説した。同人材は広告宣伝や交流サイト（SNS）活用、デジタルトランスフォーメーション（DX）などさまざまな分野で企業の課題解決を担ってくれることを説明。正社員採用に比べ、必要な時に必要な知見、実務



支援を安価に活用できるメリットを伝えた。

## 寒河江

柴橋 由美子さん（しばはし ゆみこ）61歳。本橋1の118。9月30日。葬儀は近親者で3日午後2時半、西根のメモリアルホール寒河江（一般焼香は同2時）。喪主は夫政明（まさあき）氏。  
布施 辰也氏（ふせ たつや）布施昌人布施健真製作所代表の父。91歳。白岩212の10。9月30日。葬儀は近親者で4日午後1時半、平野山の天国社セレストホール（一般焼香は同1時～1時半）。喪主は長男昌人（まさひと）氏。

副業・兼業プロ人材活用のことや利点を説明したセミナー  
寒河江市・ハートフルセンター

同拠点による県内における活用事例などの説明もあった。同市観光物産協会が主催し、市内企業7社の9人が聴講した。セミナー後、希望企業を対象にした個別相談会も行った。

(森谷亮)

山新

R6.10.2 (水)